

「弱い子がいじめられる。国も同じ」

自民・麻生氏、街頭演説で

自民党の麻生太郎副総裁が4日にあつた千葉県市川市での街頭演説で、日本の安全保障をめぐり、「子ども時にいじめられた子。弱い子がいじめられる。強い子はいじめられない。国もおんなじよ。強そうな国には仕掛けでこない。弱そうな国がやられる」と発言した。そのうえで「『やり返される可能性が高い』と想われて、はじめて抑止力になる」と主張した。

維新の会副代表の吉村洋文・大阪府知事は5日、記者団に「いじめられる方に関する問題がある」という人もいる

が、やはりいじめる方が悪い。いじめと国防は関係ない」と語った。共産党の小池晃書記局長は自身のツイッターで、「いじめは絶対に許してはいけない」という最低限の規範すらない。いじめに苦しむ方への思いやりのかけらもない」と批判した。

また末松信介文部科学相は5日の記者会見で記者から麻生氏の発言への受け止めを問われ、「真意を聞いてからでないとコメントは難しい」としたうえで「一般論としてそういう決めてはどうかなと思う」と述べた。SNS上では「いじめは被害者が弱いせいな

いか」などの批判が相次いでいる。

いじめ問題に取り組むNPO法人「ジョントルハーツ・プロジェクト」の小森美登里理事の話

は、「弱いからいじめられる」という本質を考える機会が奪われてしまう。

娘はいじめに苦しみ、自死する4日前に「やさしい心が一番大切」と言った。加害者の抱える問題を一緒に考える大切さを教えてくれた。政治家は、いじめ防止対策を担う組織づくりに違和感がある。「弱いからいじめられる」というのは被害者に責任を負わせる言葉。加害者の置かれた状況

い。